

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年7月20日 NO. 10



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

◇1学期終了◇



1学期が終了します。7月21日から42日間の夏休みがスタートします。粟ノ保っ子たちにとっても楽しみでしょう。この間のすごし方で2学期からのスタートに差がつきます。心も体も頭も成長する粟ノ保っ子を期待します。決してだらしない生活のもと、1学期の今の姿より下げてはいけません。時間に余裕があるので、家族とのふれあいや普段行けない場所での体験などいいかもしれません。夏ならではの思い出を作ってください。良い夏休みを送る秘訣は、規則正しい生活を送ることです。

◇夏休みの過ごし方◇

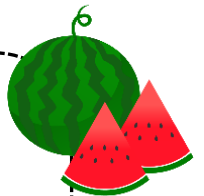
早寝・早起き・朝ごはん・そして勉強

早寝・・・低学年は9時、高学年は10時にはふとんに入りましょう。
※ゲーム、パソコン、タブレット等で夜更かしが脳によくないです。

早起き・・・6時30分前には起きる。ラジオ体操がよい。頭も体も目覚めます。

朝ごはん・・・ごはんは元気のもと。保護者の皆様、ぜひよろしくお願ひします。

勉強・・・夏休みの課題やAIドリルなど。午前中に。すずしい時間で集中して取組。応募作品も取り組みましょう。(別紙をみて応募下さい。)



◇1学期通知書渡し◇7/21(金)

「何のための成績渡しか？」それは、子どもの成長を願ってのものであります。できていないことを叱るものでは決してないということです。成長していくときには、今ある我が子の姿を知ることが大事です。現状を見つめ、更に伸びるためにはどうしたらいいのかを考えなければいけませんね。我が子を注意して、叱れば直るかといったら、そんな甘いものではないことはお分かりだと思います。大人でもそうだと思います。我が子の「通知書」を見て、どこが伸びているか(努力・成長しているか)をまず、褒めてください。そして、気になる点は、「具体的にどうしようか?」「何から始める?」「できるかな?」など我が子と一緒に共に考えてあげてほしいと思います。一つ一つの小さなステップの積み重ねです。できたら褒める。このことが大事です。我が子の成長のための一つの「資料」として、「目標・めあて」を話し合い、夏休み・2学期につながる会話を願っています。

裏面あります



◇1学期終業式：全校集会の話◇7/20(木)

1学期終業式の話を紹介しします。少し古いのですが、2年前の東京オリンピックについてでした。そのオリンピックの男子100m選考会の話をしました。男子100mといえば、陸上の花形種目です。当時その100m選考会は、史上最難関の選考会と言われました。理由は9秒台の記録を持つ4人（桐生、小池、山縣、サニブラウン）が出場し、誰が勝っても不思議ではないハイレベルの勝負だったからです。この中から3人しかオリンピックに出場できない中での選考会でした。決勝は、緊張の瞬間です。



結果は、多田選手 山縣選手がオリンピック100mの内定。後日小池選手追加。5位桐生選手、6位サニブラウン選手は残念ながら100mには漏れました。3位～6位までは、この写真からわかるように1000分の1秒の世界で、差は10cmでした。それだけ厳しい勝負を繰り広げたのです。

大変厳しい世界です。下表は、世界と日本の記録です。

世界

1968年	9秒95	ハインズ
1991年	9秒86	ルイス
1996年	9秒84	ベーリー
1999年	9秒79	グリーン
2007年	9秒74	パウエル
2009年	9秒58	ボルト

日本

1968年	10秒34	飯島
1991年	10秒20	井上
1997年	10秒08	朝原
1998年	10秒00	伊藤
2017年	9秒98	桐生
2019年	9秒97	サニブラン
2021年	9秒95	山縣

10秒のかべ

男子100mでは、10秒を切ることが一つの目標です。

世界では、今から50年前にはすでに10秒を切っていました。

日本人が10秒を切ったのは、2017年桐生選手が9.98秒の日本新記録を打ち立てました。外国と比べて50年かかりました。以来2年間で3人が10秒を切る選手が出始めました。今まで練習してきたことが花開いたのです。「やればできる。」ということです。

粟ノ保っ子には、次のことを話しました。はじめから「むり、できるわけない」と自分で「自分のかべ」を作っていないませんか？誰にでも挑戦したい夢がある。その夢をかべにはしてはいけない。

「粟ノ保っ子もあきらめずこれからも努力をしてほしい！」 校長が伝えたかったことでした。

学校閉庁日の緊急連絡先について

8月14日(月)～17日(木)は羽咋市の学校閉庁日です。

期間中学校職員が不在です。児童やその他に関して緊急の用件がある場合は、粟ノ保小(22-0243)へ電話を入れていただくと担当者へ転送されます。

※なお、週末等(土、日、祝日)に関しましても同様な手続きです。

